

指導者 ○○○○ (T1) ○○○○ (T2)

1 題材名 「写真を公開する前に・・・(情報モラル)」

2 題材設定の理由

(1) 生徒観

本学習グループは高等部 類型Ⅲの3年生(男子1名、女子2名)、2年生(男子2名)の5名で構成されている。生徒たちの主な障害は、

(生徒の障害については省略)

である。全員が言語理解でき、言葉による意思疎通ができるが、発語が不明瞭である生徒やタブレットとスイッチを使って文字入力をして意思疎通を行う生徒もいる。

情報は1段階で学んでいる。全員が就学奨励費制度を活用して1人1台のタブレット(iPad)を所持しており、卒業後を見据え、主に使用する情報機器を所持しているタブレット(iPad)とし、基本的な用途や操作方法の習得を学習の中心にしている。これまでに文書作成アプリやプレゼンテーションアプリを使用して、作業製品販売会のポスターや年賀状、長期休業の思い出スライドの作成等を行い、基本操作の習得を図ることができた。今年度は使用する情報機器にPC(Windows)を加えるとともに、制作物についても学習指導要領の「B コミュニケーションと情報デザイン」の内容をより深められるように取り組んでいる。

(2) 題材観

就学奨励費制度を活用して所持しているタブレット(iPad)は学校の授業での活用が主であるが、生徒たちとの会話から自宅でLINEやTwitter、YouTube等のSNSにも使用しているということが伺える。生徒たちのこのような日常生活の背景からも、情報では機器の使い方だけでなく、情報モラルを取り扱う必要性を強く感じる。学習指導要領の「A 情報社会の問題解決」の内容にも「個人の責任及び情報モラルについて知ること」、「情報モラルに配慮して情報を発信する力を養うこと」とあり、情報に関する法規や制度及びマナー、個人が果たす役割や責任等について、情報社会の問題を知り、問題を解決する活動を通じて理解できるようにする必要があると明記されている。特にSNS等におけるトラブルの原因となるのが、情報発信である。相手の立場や気持ちを汲み取れず、メッセージや写真を送信してしまうことによってトラブルが起こってしまうことが多い。昨年度はメッセージ(文字だけ)のやり取りで気を付けなければならないことを学習した。今年度は写真を公開する際に気を付けなければならないことをテーマに授業を展開し、顔が見えないネット上においても他者を思いやる気持ちを醸成したい。

(3) 指導観

従来の情報モラルの学習は、トラブルの事例を紹介して怖がらせて気を付けさせる、ルールを覚えさせてそれを守らせるといった、自覚の無い生徒には効果の薄い指導であると言われている。そこで、本題材では、生徒本人が他者との考え方・感じ方の違いを実感し、インターネットとの上手な付き合い方や適切なコミュニケーション方法を考えるきっかけとなるよう指導を行いたい。本題材を通して、他人事と捉えがちな SNS のトラブルについて、生徒自身が回避する術を自ら考え、自覚をもって適切に SNS を活用することができるようになってほしい。

3 生徒の実態

氏名（記号）	生活全般の実態	題材に関する実態
A	<ul style="list-style-type: none"> ・学習意欲が高く、周囲との会話や関わりを楽しめるが、発声が不明瞭で相手に伝わりづらいことがある。 ・疲労がたまると集中力や体力が低下する。従って、深い呼吸や自力排痰の誘導、排痰しやすい姿勢（うつ伏せ）を取る、適宜身体を休めるなどの配慮が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校の通常の学級で学んだ経験から、対人トラブルについて理解があり、トラブルの原因について考察できる。 ・タブレットを使って YouTube 等でコンテンツを楽しんでいる。
B	<ul style="list-style-type: none"> ・学校生活の様々な場面で意欲的に取り組める。 ・今年度4月に白内障の手術を終えて見えにくさが解消され、これまで以上に「色々なことに挑戦したい」という意欲が出ている。また、「歩きたい」「将来はお金を稼ぎたい」という目標を持つようになった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・SNS を通じて友人とのやり取りを日常的に行っている。 ・他者の感情や考えを汲み取ることに難しさはあるが、他者を思いやる気持ちは強い。
C	<ul style="list-style-type: none"> ・補聴器を使用している。学校生活では見通しをもち、周りの状況を見て行動することができる。しかし、周りを気にして声をかけるのをためらい、依頼ができずにいる場面もある。また、分からないことを聞き返さずにそのままにしてしまう、発言に自信が持てず、声が小さくなる傾向がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スマートフォンも所持しており、友人との SNS でのやり取りが頻繁である。 ・SNS で写真を公開したことがある。
D	<ul style="list-style-type: none"> ・50 音表の指さしのほかに、視線入力装置やタブレット端末も活用することで自分の気持ちを表現できる。自分の身体への理解があり、限られた中ではあるが意図的に身体を動かすことができる。 ・人との関わりで受け身のことが多く、主体的な意思表示が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・他者との SNS でのやり取りは無いが、タブレットを所持しており、それを使ってソーシャルゲームで遊んでいる。 ・障害の特性上経験が少ないが、トラブルの原因について考察できる。
E	<ul style="list-style-type: none"> ・明るく素直な性格で、友達との関係も良好である。クラッチを使用して歩行できるが、上肢の力に頼っているために不安定であったり、身体面の困難さから自信を持てずに消極的な様子が見られたりする。また、これまでの学習や経験を実体験の中で活かしていく経験も少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スマートフォンも所持しており、友人との SNS でのやり取りが頻繁である。 ・他者とのトラブルに対して敏感であり、迷惑をかけたくないという気持ちを持っている。

4 題材の目標

(1) 共通目標

- ① SNS の種類や特性について理解を深め、一度公開した情報はいろいろな人が見ることができ、消すことが難しいといったネットの特性を理解できる。【知識及び技能】
- ② 人によって「公開してもよいと思う写真（動画）」は異なる場合があり、自分は「公開してもよい写真」だと思っていなくても、ほかの人は「公開してほしくない」と感じる場合があることを理解でき、トラブルの原因について考えられる。【思考力、判断力、表現力等】
- ③ SNS でのトラブルを自分ごととして捉え、積極的に意見を発言することができる。【学びに向かう力、人間性等】

(2) 個人目標

氏名(記号)	題材に関する目標	支援プラン B(自活)の目標
A	<ul style="list-style-type: none"> ・ Web に写真（動画）を公開する際は、公開範囲を変えることができるが、一度アップロードしてしまったものをすべて消すことは困難であると理解できる。 ・ 自分と他者は感じ方や考え方が異なることを知り、トラブルの原因を考えることができる。 ・ これまでの自分の経験や知っている知識を発表できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 深い呼吸を意識し、大きく明瞭に発声できる。 ・ 予定や体調に合わせ、注入時や授業時の姿勢、休息の有無を伝えられる。
B	<ul style="list-style-type: none"> ・ SNS で写真（動画）を公開する際、自分の写真（動画）をどの範囲の人まで見ることができるか把握できる。 ・ SNS 上でのトラブル例から、その原因は自分と他者の感じ方や考え方のどの部分にずれ違いがあったのかを考えられる。 ・ 自分の考えを部分的でもよいので、キーワードとして挙げるることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一人でも安定した歩行ができる。 ・ 普段関わりの少ない相手ともコミュニケーションをとれる。
C	<ul style="list-style-type: none"> ・ Web に写真（動画）を公開する際、SNS によって公開範囲やその設定が異なることを知り、写真の内容に応じ SNS を使い分ける必要性を理解できる。 ・ 写真（動画）の内容によってトラブルの起こりやすさを理解し、どのようなトラブルが起こりうるか考えることができる。 ・ 自分の行動を振り返り、学んだことをふまえてこれからどのように SNS を活用すればよいか発言できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 姿勢を意識して学校生活を送ることができる。 ・ 時間を意識して、やるべきことに優先順位をつけて行動することができる。 ・ 衛生面に気を付け、安全に導尿を行うことができる。
D	<ul style="list-style-type: none"> ・ SNS で写真（動画）を公開する際、自分の写真（動画）をどの範囲の人まで見ることができるか把握できる。 ・ 公開する写真（動画）の内容によってリスクが異なることを理解し、どのようなトラブルが起こりうるか自分の意見を述べるることができる。 ・ 自分の考えを部分的でもよいので、キーワードとして挙げるることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ICT 機器を活用しながら、具体的に自分の気持ちを伝えることができる。 ・ 場や自分の体調に応じて、楽な姿勢を選択し、適切な姿勢を他者に依頼することができる。
E	<ul style="list-style-type: none"> ・ Web に写真（動画）を公開する際、SNS によって公開範囲やその設定が異なることを知り、写真の内容に応じ SNS を使い分ける必要性を理解できる。 ・ SNS 上でのトラブル例から、その原因は自分と他者の感じ方や考え方のどの部分にずれ違いがあったのかを考えられる。 ・ 自分の行動を振り返り、学んだことをふまえてこれからどのように SNS を活用すればよいか発言できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 誰に対しても相手に伝わるように自ら挨拶をすることができる。

5 指導計画

	授業目標	授業時数
1	写真の公開について自分と他者の感覚の違いに気付く。 SNS の公開範囲を知り、写真によって適切な範囲を判断できる。	1 本時
2	写真から得られてしまう個人情報にはどんなものがあるか知る。 写真の公開に伴うリスクについて考えることができる。	1
3	自分が嫌だと感じる写真が公開されてしまった際の対応を考えられる。 また、自分が相手を傷つけてしまわないための対策を考えられる。	1

6 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善の視点

- ・写真や映像を活用することで、理解を深め、意欲的に取り組めるようにする。(主体的な学び・深い学び)
- ・カード教材を用い、自分に関係のあることとして思考できるようにする。(主体的な学び・深い学び)
- ・発表の場を複数設けることで、他者の意見から自身の考えを広げるとともに、アウトプットによる理解促進を促す。(対話的な学び)

7 本時の構成

(1) 本時の目標

	本時に関する目標
共通目標	<ul style="list-style-type: none"> ・公開した写真は基本的に誰にでも見られることを理解し、公開されて嫌な写真は人によって異なることに気付く。また、肖像権についても理解できる。【知識及び技能】 ・写真の内容によって SNS で公開してもよい範囲が異なることを理解し、適切な公開範囲を考えられる。【知識及び技能】【思考力、判断力、表現力等】 ・SNS で写真(動画)を公開する人の気持ちや公開した場合の他者の気持ちを汲み取ることができる。【学びに向かう力、人間性等】 ・自分自身の情報発信について振り返り、SNS を通じて他者との良好なコミュニケーションを取ろうとする態度を養う。【学びに向かう力、人間性等】
A	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が SNS に公開されたら「嫌だな」と感じる写真を選び、どうして嫌なのか、理由を自分の言葉で説明できる。【学】 ・例題の写真から、その写真はどの公開範囲が適切であるか判断できる。【知】【思】
B	<ul style="list-style-type: none"> ・SNS に公開した写真は基本的に世界中の誰でも見られることを理解する。【知】 ・自分が SNS に公開されたら「嫌だな」と感じる写真を挙げ、どうして嫌なのか理由を説明できる。【学】 ・例題の写真から、その写真はどの公開範囲が適切であるか判断できる。【知】【思】
C	<ul style="list-style-type: none"> ・例題の写真から、肖像権や他者の気持ちを意識してどの公開範囲が適切であるか判断できる。【知】【思】 ・自分自身の情報発信について振り返り、SNS を通じて他者との良好なコミュニケーションを取ろうとする態度を養う。【学】
D	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が SNS に公開されたら「嫌だな」と感じる写真を選び、どうして嫌なのか、理由を自分の言葉で説明できる。【学】 ・例題の写真から、その写真はどの公開範囲が適切であるか選ぶことができる。【知】【思】
E	<ul style="list-style-type: none"> ・例題の写真から、肖像権や相手の気持ちを意識してどの公開範囲が適切であるか判断できる。【知】【思】 ・自分自身の情報発信について振り返り、SNS を通じて他者との良好なコミュニケーションを取ろうとする態度を養う。【学】

(2) 展開

配時	学習活動	指導上の留意点	備考
10分	<ul style="list-style-type: none"> あいさつ 本時の学習内容を聞く 写真（動画）を SNS 上で公開する気持ちについて考える 	<ul style="list-style-type: none"> 姿勢を整え、T1 に注目するよう促す。 一般的に数多くアップされている食事、自撮り、風景（旅行先）の写真を提示し、そういった写真を見るとどういう気持ちになるかを考える。 	評価【学】
15分	<ul style="list-style-type: none"> SNS にアップした写真は誰が見られる？ 自分がネットに公開されたら「嫌だな」と感じる写真を1つ選ぶ どの写真を選んだか1人ずつ発表し、自分と他者の感じ方の違いに気付く 	<ul style="list-style-type: none"> 基本的には世界中の誰でも見られるということを具体的なイラストで示す。 1人に対して5枚のカード（①自分の寝顔、②自分の変顔、③自分の部屋、④たまたま写り込んだ自分、⑤食事中の自分）を配布する。 選んだ写真とその理由は匿名で発表する。 	評価【知】 ・カード教材 ・Jamboard ・iPad 評価【知・人】
5分	<ul style="list-style-type: none"> 肖像権と公開範囲を知る 	<ul style="list-style-type: none"> 誰しも肖像権があること、学校のHPや通信等にみんなの写真を使用する際も保護者に許諾をとっていることを伝える。 	評価【知】
10分	<ul style="list-style-type: none"> 5枚の写真を2つのグループに分ける→答え合わせ 	<ul style="list-style-type: none"> 「誰でも見られる」「決められた人だけ見られる」の2つのグループを示し、5枚の写真を分けるよう指示する。 	・カード教材 評価【思】
5分	<ul style="list-style-type: none"> 今日の学習の内容を振り返る 次回の学習の内容を確認する あいさつ 	<ul style="list-style-type: none"> SNS で写真（動画）を公開する際は「誰かが嫌な思いをしないか、他者が写っている写真はその人に許可を得る、誰が見ているかを考える」ことをおさえる。 写真や動画を不特定多数の人に公開することの危険性について学ぶことを知らせる。 姿勢を整え、T1 に注目するよう促す。 	

8 本時の評価

(1) 児童生徒の評価

A	<ul style="list-style-type: none"> ・人によって公開されて嫌だなと感じる写真は異なることを理解し、自分の意見を記述できたか。(知識・技能) ・写真の内容に応じて適切な公開範囲を選択することができたか。(思考・判断・表現)
B	<ul style="list-style-type: none"> ・ SNS の写真は基本的には世界中の誰もが見られることを発問に対して答えられたか。(知識・技能) ・自分が公開されて嫌だなと感じる写真について、どうしてそのように感じるのか理由を説明できたか。 ・写真の内容に応じて適切な公開範囲を選択することができたか。(思考・判断・表現)
C	<ul style="list-style-type: none"> ・何を基準に公開範囲を判断したか、その理由を他者にわかりやすいよう説明できたか。(思考・判断・表現) ・本授業を通して、自らの SNS の利用を振り返った感想を述べられたか。(思考・判断・表現)
D	<ul style="list-style-type: none"> ・教員とのやり取りの中で嫌だなと感じる写真を選択し、理由を教員に伝えることができたか。(思考・判断・表現) ・写真の内容に応じて適切な公開範囲を選択することができたか。(思考・判断・表現)
E	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が考えた公開範囲の理由を問われたときに肖像権という言葉やそれに近い発言を聞くことができたか。(知識・技能) ・本授業を通して、自らの SNS の利用を振り返った感想を述べられたか。 (主体的に学習に取り組む態度)

(2) 教師の指導の評価

ア 授業構成（指導手順、時間配当、指導形態等について）

- ・生徒が自分で考えをまとめたり、挙げたりする十分な時間が確保できたか
(主体的に学習に取り組む態度)
- ・教員や生徒間のやり取りを通して、生徒自身が考えを深める場面設定ができたか
(思考・判断・表現)・(知識・技能)

イ 教師による支援（環境設定、教材教具の工夫等について）

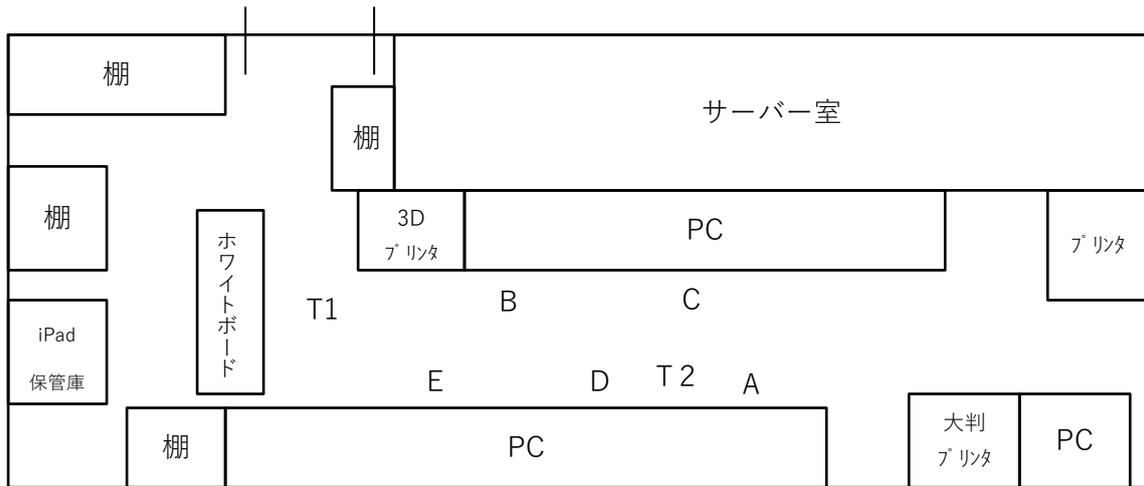
- ・カード教材を使うことで、生徒が自分で情報を整理したり、発表したりすることができたか
(主体的に学習に取り組む態度)・(知識・技能)
- ・生徒の自主性を大切に、必要に応じた支援ができたか (主体的に学習に取り組む態度)

ウ 自由記述（授業について気付いたことがありましたら記入の上 T1 に提出してください）

記入例：ねらいに対して他にどのような活動が考えられるか、地域資源や教材のアイデア等

9 備考

(1) 教室配置図



(2) 準備するもの

学習プリント、カード教材、プロジェクター付きホワイトボード、iPad、AppleTV